

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるきっず (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 13名
○従業員評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育を行い、ご家族とも密に情報の共有を図ることで子どもの成長に繋げている。	療育の場面を実際に見ていただくことやLINE、連絡ノート、送迎時の報告で事業所での様子や家庭での様子の詳細を情報共有し、取り組みの狙いや関わり方について伝えている。	親子療育時に適宜面談にて話を聞く時間を設けていく。
2	個室が確保でき、子どもに合わせた個別の対応とグループ活動での対応を行っている。	アセスメントを行い、その子の状態や発達段階、特性を考慮し職員間で協議検討して支援を行っている。	全体共有を行い、何度も検討する機会をもつことで、多様な意見から、一人ひとりに合わせた支援へ繋げていく。
3	職員の専門性と質の向上に向けて、定期的に研修を行ったり、研修へ参加している。	職員研修を設定することや外部研修へ参加が出来るように調整を行っている。	ケース検討などをこまめに行い、経験の差に関係なく専門性を持ち、支援が出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSでの発信などが弱く、アピールが上手にできていない。	LINEの運用は開始したが、ホームページやFacebookの更新は不定期。載せる手順も法人内において煩雑となっている。	LINE等の活用方法検討し、促進していく。
2	職員間の連携がスムーズにいかない場面がある。	昨年10月に主たる事業所と従たる事業所の統一を図ったことから、まだ職員間の連携がスムーズに行かない場面がある。	スムーズにいかない場면을職員間で共有しながら、改善に向けて取り組んでいく。